

うるま市誕生までのあゆみ

国や地方の財政状況の悪化、少子高齢化の進行、住民ニーズの高度・多様化など激動する時代に対応するため、国は「行財政基盤の強化」を目的に市町村合併を促進することになりました。このような時代背景の下、具志川市、石川市、勝連町、与那城町においても将来を見据え、2市2町が“ひとつ”になる行政運営を目指すことになりました。

- 1997**
平成 9年
 - 3月 定例議会において、当時の具志川市長（仲本景美氏）、勝連町長（藏當眞徳氏）、与那城町長（前上門正進氏）が近隣市町村との合併を検討する必要性を表明。
 - 11月12日 ライオンズクラブの主催で具志川・与勝サミット開催。
- 1999**
平成 11年
 - 8月29日 具志川青年会議所主催の合併についてのフォーラム開催。
- 2000**
平成 12年
 - 8月30日 沖縄県市町村課と3首長の意見交換会を具志川市役所で実施。
- 2001**
平成 13年
 - 5月28日 3市町合併後援会開催。
 - 11月10日 具志川市青年会議所創立20周年事業「街づくりと市町村合併」を開催。
 - 11月17日 「市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム2001 in 沖縄」を勝連町きむたかホールで開催。3市町の合併の機運が盛り上がる。
 - 11月30日 具志川市・勝連町・与那城町3市町の合併を考える任意協議会についての覚書締結。
 - 11月30日 沖縄県市町村合併支援本部長より合併重点支援地域の指定を受ける。
 - 12月3日 「任意協議会」の事務局が勝連庁舎のシビックセンター内に設置される。
- 2002**
平成 14年
 - 1月21日 第1回任意協議会が開催され、藏當眞徳会長から27人の委員へ委嘱状が交付される。
 - 2月5日 事務局と行政関係者で東京都西東京市と茨城県潮来市の合併先進地を視察。
～7日
 - 4月～8月 市町村合併に関する各種団体説明会実施。
 - 5月14日 第2回任意協議会が開催され、経過報告や視察研修についての報告が行われる。
 - 7月～10月 7月28日に第1回「新市のまちづくりビジョン策定ワークショップ」会議を開催。同年10月の第6回会議まで白熱した議論を展開し、新市のビジョンを取りまとめる。
 - 9月～10月 市町村合併に関する住民説明会を開催。
- 2003**
平成 15年
 - 1月15日 第3回任意協議会が開催され、各種団体及び住民説明会の結果やアンケート調査結果等の報告が行われたほか、法定合併協議会への移行に向けた内容の検討も行われた。
 - 1月24日 三市町は「法定合併協議会の設置に関する」議案を臨時議会に提案。その結果、勝連町議会は賛成多数で可決。与那城町議会は全会一致で可決。具志川市議会は1月28日に賛成多数で可決した。
 - 1月31日 3首長で具志川市・勝連町・与那城町合併協議会設置に伴う協議事項について同意書を交わす。
 - 2月3日 知念恒男具志川市長、藏當眞徳勝連町長、具志堅順助与那城町長は、沖縄県知事に対し「合併協議会設置の届け」を提出。法定合併協議会の委員は三市町の長、助役、教育長、議会議員（具志川10人、勝連5人、与那城5人）、学識経験者及び各種団体代表者（20人）の合計49人で構成され、それぞれの立場から議論を交わすこととなった。合併事務局は任意協議会の体制（4人）で対応することになった。

- 2月12日 第1回合併協議会が開催される。合併協議会は石川市が加わる第6回合併協議会までは三市町による合併協議となった。第3回からは事務局も8人体制となった。
- 4月30日 石川市議会では臨時議会を開催して、合併の相手先を具志川市・勝連町・与那城町とする議案を賛成多数で可決。
- 5月1日 平川崇賢石川市長は、それまでに決定された協議事項をそのまま受け入れることを了承し、正式に参加を申し入れた。
- 5月8日 第4回合併協議会において石川市の申し出を検討。具志川市・勝連町・与那城町の議会において石川市の参加を承認する意見が大勢を占める。
- 6月3日 新市建設計画について、15人の委員（石川市を除く）で第1回新市建設計画検討委員会を開催し、策定へ向けた協議を開始した。7月1日から石川市の参加に伴い20人の委員となり、合計14回の会議を経て平成16年2月12日に新市建設計画（素案）が策定された。
- 6月6日 2市2町による合併協議会設置に伴う協議事項についての同意書を交わす。
- 7月1日 「具志川市・石川市・勝連町・与那城町合併協議会」が発足。
- 7月3日 沖縄県知事へ「具志川市・石川市・勝連町・与那城町合併協議会」設置の届け出を提出。
- 7月10日 第6回合併協議会が開催される。石川市の参加により協議会委員は64人となり、事務局体制も13人と増員された。
- 8月21日 新市名称検討委員会を設置。新市の名称の候補を選定することになった。



2004 平成 16年

- 5月13日 第20回合併協議会で新市の名称を『うるま市』に決定。
- 5月27日 「新たに飛躍するまちを目指して」をテーマに、四市町合併シンポジウムが開催される。
- 6月8日 2市2町ごとに首長以下、関係職員を動員して、夜間に自治会単位で住民説明会を開催した。
～8月5日
- 8月16日 第22回合併協議会で全ての協定項目の協議が完了したことを受けて、合併協定調印式が行われる。
- 9月 2市2町の定例議会で合併に関する5議案が提案され可決された。
- 10月29日 2市2町の首長が県庁を訪問し、稲嶺恵一知事に「合併申請書」を提出。
- 12月21日 沖縄県議会において2市2町の合併関係議案が全会一致で可決され、12月24日付で沖縄県知事より決定書が交付される。



2005 平成 17年

- 1月26日 官報により、2市2町の配置分合が告示される。
- 3月31日 2市2町ともに長年続いた市政、町政の歴史に幕を降ろすことになり、それぞれで閉市式・閉町式が開催された。具志川市—2月17日 石川市—3月17日 勝連町—3月25日 与那城町—3月6日
- 4月1日 開庁式は、本庁舎（旧具志川市役所）の玄関前で午前10時から関係者や市民ら約350人が参加して行われ、藏當眞徳市長職務執行者が祝辞を述べた後、「うるま市役所」と記された石碑の除幕や蝶々（オオゴマダラ）が放たれ、新市の発足を祝った。

